

市民意見の概要とそれに対する市の考え方

◎「第1章 姫路市観光戦略プランの概要」に関するもの

No.	提出された市民意見の概要	市の考え方	該当ページ	計画への反映
1	「(3)本市の課題と長期的な戦略」で弱みの記述が弱い。「現状では、姫路城中心の観光となっており、また観光客向けの宿泊施設不足により滞在客の割合が少ないなどの弱みがあり」に修正してはどうか。	ご意見を踏まえ、加筆修正します。	P2	【修正】 「現状では、本市における宿泊需要は、ビジネスによるものも多く、観光客向けの宿泊施設が不足している。また、集客力のある姫路城への観光客に対して、他の観光資源に関する情報の訴求力が不足している等の弱みがあり」に修正。
2	本市のまちづくりや景観づくりの長期戦略に連動した観光戦略を反映し、織り込んだものでなければならぬのではないかと。	観光戦略は、景観やまちづくり、その他さまざまな分野と深い関係にあります。本プラン中に十分にその関連性まで書ききれないものの、市全体の中長期計画であり、本プランの上位計画である「姫路市総合計画」に基づき、策定しており、本市の基本方針にしっかりと沿った内容であると考えます。	P3	-
3	観光まちづくりとして、地域の関係者と社会実験を実施するなど、観光とまちおこし、街並み保全を総合的に推進してもらえないかと。	本プランでは、観光に関する内容を掲載していますが、市民が愛するまち、というコンセプトを入れ、観光とまちづくりのつながりを意識しています。これには、さまざまな分野が関係しますので、行政の関係部署と住民の方との連携、協力が必要であると考えます。	P4、36	-

◎「第3章 姫路市観光戦略プランの概要」に関するもの

No.	提出された市民意見の概要	市の考え方	該当ページ	計画への反映
4	インバウンド観光の推進に関して、観光地のトイレが、まだ古く汚い。「おもてなしはトイレから」を合言葉にトイレの新築は必要	観光施策において、トイレの重要性は十分に認識しており、臭い対策や清掃強化などに取り組んでおります。観光客の受入環境の充実施策の中で取り組んでまいります。	P24、25	-

No.	提出された市民意見の概要	市の考え方	該当ページ	計画への反映
5	観光案内所機能を出張所等に幅広く持たせ、地区単位で細かく観光客へ対応する「親切的」姫路市をつくってほしい。	民間の事業者等にパンフレット等の据え付け、必要に応じたご案内をお願いする制度を運用しております。都市のホスピタリティ向上の施策として、おもてなしに努めてまいります。	P24、25	-
6	学生による外国人観光客への通訳、観光ガイドを導入してはどうか。	現在、実験的に実施されている学校もあり、国際交流の観点からは有効な施策です。観光客にどれだけ十分なサービスが提供できるかといった課題がありますが、観光ボランティアへの参加という形で実現できるものと考えます	P24、25	-
7	バスの周遊路線の開拓、半日や1日のオプションツアーの実施などが必要ではないか。	周遊バスによるオプションツアーの実施については、民間機関により、採算を勘案した上で実施されるべきものと考えています。姫路・播磨の有効な観光ルートについては、民間主導で実施されるよう、積極的なPRやルートの提案等を行ってまいります。	P24、25	-
8	姫路観光なびポート（観光案内所）は立地や広さ、提供情報の内容も十分であるが、姫路城が9時に開城するため、閉所時間を繰り上げてでも、開所時間を8時30分に早めてはどうか。	本プランにおいては、観光案内所の充実を掲げております。開所時間については、合理的な意見であると考えますが、もう少し状況把握が必要です。今後の検討課題とさせていただきます。	P24、25	-
9	車で来られる観光客が利用できる小規模の観光案内所を姫路城周辺に作ってはどうか。	車による来訪者に向けた観光情報の提供は課題の一つです。参考意見とさせていただきます。	P24、25	-

No.	提出された市民意見の概要	市の考え方	該当ページ	計画への反映
10	<p>姫路城のサイトについては、有料区域の情報提供に特化している。見どころは有料区域のみと自ら言っているように感じるため、城周辺散策コースなど、内容を見直してはどうか。観光情報サイト「ひめのみち」については、比較的親切的なサイトであるが、個人観光客がこのサイトを見て、プランを練り、滞在時間を決めるといった認識を強く持ってほしい。パンフレットの情報は十分であるため、その情報をサイトへ積極的に掲載すべきである。</p>	<p>現在、「ひめのみち」については、リニューアルを予定しております。また、姫路城に関するサイトについても、今後、随時、改善してまいります。</p>	P24、25	-
11	<p>姫路フリーWi-Fiを整備する。姫路観光マップをGoogle・マップで作成。市民や旅行者と一緒に共同編集し、市が定期的に内容の事実確認を行う。トイレや荷物預かり、授乳室など親子向けのサービス等を充実させる。</p>	<p>無料Wi-Fiについては、姫路城周辺では整備済みです。面白い提案と考えますが、事実確認を行う上で、市の負担が少し重く感じます。親子向けの情報提供については、パンフレット作成時には、留意している点ですので、今後も充実に努めてまいります。</p>	P24、25	-
12	<p>観光案内所の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・観光案内所をJR姫路駅構内だけでなく、城エリアにも設置してはどうか。 案内機能の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・多言語のコミュニケーションを図るツールの導入（通訳サービス等） ・開催中、開催予定のイベントの告知案内をパンフレット等だけでなく掲示板等で案内してはどうか。 ・スタッフのサービスレベルの向上、均一化 ・閑散期の案内所内のスペース活用 </p>	<p>城エリアにおける観光案内所については、今後の検討課題とさせていただきます。駅構内の観光案内所については、好立地にあるため、さらなるサービス向上に努めるとともに、今後は文化行事の情報等、観光客に向けた多彩な情報提供を行ってまいります。</p>	P24、25	-
13	<p>姫路城前に出店スペースのうち、一つをウィークリー、マンスリーのお店にし、姫路市近郊のお店や地域を観光客にプロモーションしてはどうか。</p>	<p>スペースの課題がありますが、姫路城周辺でプロモーションを行うという点について参考意見とさせていただきます。</p>	P24、25	-

No.	提出された市民意見の概要	市の考え方	該当ページ	計画への反映
14	食の楽しみとして、前どれの魚を味わう本格的な和食を富裕層向けにもっとPRする、歴史を感じる料理として大名料理の復元など、食についての幅広い取り組みが必要ではないか。	食は、観光の大事な要素です。民間の方々の協力なしには、達成できない施策であり、本市の関係部署や姫路観光コンベンションビューロー等とともに、創意工夫を重ね、積極的な取り組みを進めていきます。	P26	-
15	姫路駅から姫路城までの観光魅力の向上施策として、古民家や商店街空き店舗等の保存活用。商業ビルからの城の眺望の積極活用。	滞在型観光の推進施策として、姫路城周辺の魅力の創造と発信に積極的に取り組むこととしており、ご提案の趣旨のうち、本プランの対象とする施策については、網羅しているものと考えます。	P26	-
16	姫路城天守閣を中心とした内曲輪は、驚きや感動を与えるが、リピーターは少ないのではないか。居心地の良さや親しみのある観光資源があれば、リピーターの増加や滞在時間の延長につながるのではないか。	姫路城への再来率は、一定数あるものの、滞在時間の延長に向けて、食や体験など多様なプランの研究を進めてまいります。	P26	-
17	世界遺産姫路城があっても、滞在してもらえ魅力が足りない。姫路駅からお城周辺にかけて、イルミネーションで美しく飾り、夜の姫路城の美しさをアピールしてはどうか。	夜の姫路城の活用については、積極的に進めていきたいと考えています。手法については、具体策を進める中で参考意見とさせていただきます。	P26、30	-
18	市に求められているのは、姫路城の見どころを増加させるなどの文化観光の基盤整備であり、民間が行うことはできない。これにより観光客が増えれば、民間は自ずからホテル等の整備を行う。イベントや仕掛け等を増やし、“お客様を集めようとするのではなく、お客様が集まるようなものを用意する”ことが大切である。姫路城の失われた遺構を復元し、周辺の史跡を増やし、見どころを増やす方策に正面から取り組むべきだ。	世界遺産姫路城の整備活用は、「特別史跡姫路城跡整備基本計画」に基づき進められており、本プランでは、活用の視点で記述しております。歴史資源の文化財的価値に着目し、観光素材として観光客にも親しみやすい形でPRすることにより、観光資源が充実し、多様な見どころが増えていくものと考えております。	P26	-

No.	提出された市民意見の概要	市の考え方	該当ページ	計画への反映
19	<p>姫路城に関する提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白鷺城の別名を持つ八代城との連携、交流 ・桜門や御殿の復元。無理ならば遺構表示 ・姫路城周辺の古地図を公開しアプリ化 	<p>他の城との連携については、日本城郭を強力な観光資源としていくためには、重要なことであると考えております。また、文化財保護を前提に歴史的な資源を観光活用する施策については、積極的に取り組んでまいります。</p>	P26	-
20	<p>姫路城の前売り券の販売をコンビニ、ホテル、旅行会社等で幅広く取り扱えるよう検討を望む。クーポン付きの入城券があればよい。</p>	<p>姫路城の前売り券等については、検討してまいります。クーポン付きの入城券については、費用対効果の視点から、条件整理が必要であると考えます。今後の検討課題とさせていただきます。</p>	P26	-
21	<p>彦根城の世界遺産登録に向けて、彦根市が行った姫路城分析を参考にしては。姫路城は「木造建造物群の傑作」として認められているが、日本の城としての城下町や周辺地域の価値や機能は、世界遺産登録時には十分説明されていない。</p>	<p>姫路城周辺の魅力の創造と発信施策として、姫路城の建造物としての価値だけでなく、地域に根ざす歴史やストーリーの魅力をも十分に把握し、観光資源として発信するとともに、姫路城の魅力をもさらに磨き上げ、多面的なPRを進めてまいります。</p>	P26	-
22	<p>新たな観光資源となる施設等の誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ・城を眺めることができる宿泊施設 ・JRの豪華列車の姫路停車等 	<p>魅力の創造に関する施策として、観光に資するものについては、関係者と連携、協力し、積極的に進めてまいります。</p>	P26～28	-
23	<p>地域資源の観光活用</p> <p>例) ご当地ソングの開発 播州弁、獅子舞、播州音頭 旧飾磨県庁舎 姫路セントラルパークの側面支援、増位山周辺での花の名所づくり インバウンド向け、古民家を生かした飲食店等</p>	<p>滞在型観光の推進施策として、歴史、文化、自然等の地域資源を積極的に観光活用してまいります。</p>	P26～30	-

No.	提出された市民意見の概要	市の考え方	該当ページ	計画への反映
24	地域、都市間競争に臨むためには、「ひめじらしさ」といった独自色を明確に打ち出す必要があるのでは。「姫路城プラスワン」が独自色があるか、その内容次第である。	世界遺産姫路城という国際的にもトップクラスの価値と独自性を持つ地域資源のさらなる磨き上げと市内のさまざまな資源の多面的な磨き上げ、文化、スポーツ、観光といった施策連動による新たな魅力の創造が、「姫路城プラスワン」の資源となるものと考えています。力のあるプラスワンを育てていくために、皆様のご協力をよろしくお願いします。	P26～30	-
25	安藤忠雄さんによる建物など、公共施設も観光資源となるものが豊富である。建築家の表記などを行い、観光資源としてPRするとよいのではないか。	旅行事業者へのPRやパンフレット等で施設を紹介する際に記述するなどの取り組みを始めています。参考意見といたします。	P27、28	-
26	日本玩具博物館について、ミシュラン・ガイドで二つ星に選定されたが、もっとPRしてはどうか。	日本玩具博物館については、本市においても国内外へPRできる独自色のある観光資源であると認識しており、積極的にPRに努めているところです。	P28	-
27	広域連携については、県内の南北の連携、近畿・瀬戸内との行政連携をなお一層強め、広域でのプロモーション受入体制の整備を期待する。	観光客の動向を見極め、効果的なプロモーションを行うためには、ご提案にある地域との広域連携は重要と考えます。積極的な取り組みを進めてまいります。	P28、29	-
28	動画投稿者を招待し、姫路の色々な所を見てもらってはどうか。	動画による観光PRは重要であると考えます。その手法については、市民や観光客によるもの、行政が制作するもの等、様々な内容が想定されますので、今後の参考とさせていただきます。	P30	-
29	情報発信を市民自ら行えるよう、イベントや観光地PRポスターなどの写真を「姫路フォトバンク」に一元化してはどうか。	SNS等、市民による情報発信による誘客効果は、大きいものと考えています。観光情報サイトでのパンフレット等のダウンロードサービスは行っておりますが、今後もさらに積極的にデータ提供してまいります。	P30	-

No.	提出された市民意見の概要	市の考え方	該当ページ	計画への反映
30	留学生から見た姫路の日常生活「姫路文化」を母国に対して積極的に発信してもらってはどうか。市が適正な賃金で公募し、雇用する。	留学生による海外への発信施策については、賛同するところです。雇用は難しいと考えますが、国際交流センターや大学等と連携し、連携協力した取り組みを進めてまいります。	P30	【追加】 ⑦（ア）c 市民等（留学生を含む）による情報発信の推進
31	姫路の観光資産として、中世からの姫路城だけでなく、縄文、弥生の時代から、播磨国風土記からの歴史遺産の紹介を検討してほしい。	古くからの地域資源を観光客に親しみやすく伝えることは、観光施策の一つです。地域夢プランによる成果等をうまく活用し、観光資源を充実させていきたいと考えております。	P30	-
32	姫路の街を写真で取り上げ、ネット配信しているグループ等、若い人の視点を観光資源としてほしい。	SNS等を活用した情報発信の推進施策として進めます。市民の視点も追加します。	P30	【追加】 ⑦（ア）c 市民等（留学生を含む）による情報発信の推進
33	日の出、日の入りが、姫路城大天守や備前丸から見られるようにすることにより、宿泊機会を増やす。	朝、夕の観光資源の充実は、宿泊につながる施策として有効であると考えます。できれば日の出、日の入りは、城外から姫路城と太陽がセットになった景色としてお勧めしたいと考えます。	P30	-
34	人間将棋イベントの流れで将棋大会を行ってはどうか。小中高、一般、段位別など。	市内では、既にさまざまな将棋大会が開催されているほか、室外での対戦は条件も厳しいことから、また違った手法により行事を盛り上げていきたいと考えます。	P30	-
35	2,000人規模ホールの必要性。全国的イベントの開催による観光振興	現在、JR姫路駅東部に、ホールや展示場を備えた文化コンベンション施設の整備を計画しており、積極的な活用を進めていくこととしております。	P30、34	-

No.	提出された市民意見の概要	市の考え方	該当ページ	計画への反映
36	<p>姫路市の観光動向について、人数を集計するだけでなく、観光客の満足度、要望を調査、把握し、今後の具体的な政策に生かすことが最も重要である。姫路城シルバーガイドやひめじ観光大使等を通じて、観光客の声を収集してはどうか。</p>	<p>本市では、観光客の志向や情勢を把握し、分析結果を施策に反映させることを目的として、平成26年度から観光動向調査を開始しました。また、旅行事業者や観光客からの聞き取りなど、様々な手法により、情報収集に努めており、その重要性を認識しているところです。今後も、観光に携わる様々な方々を通じて、観光客の声を拾いあげてまいります。</p>	P31	-
37	<p>本プランでは地域経済活性化に向けた取り組みが明記されているが、実施されている分析をさらに拡充、深化させ、観光消費に関する具体的なマーケティング分析を行うことで、具体かつ効果的な戦略立案が実現できる。こうした取り組みをDMO等の新たな枠組み構築により、他地域に負けない取り組みの推進を検討していただきたい。</p>	<p>平成26年度から観光動向調査を実施し、各種統計や関係者等からの聞き取りなど、観光情勢の把握に努めています。具体的な分析については、まだ十分とは言えず、今後本プランに基づき、強化していきたいと考えています。DMOの機能については、現状では、姫路観光コンベンションビューローが主に担っており、分析については、本市や姫路経済研究所等により、補完していきたいと考えています。今後も、DMOに関する情勢については、注視してまいります。</p>	P31	<p>【追加】 (6) ② (エ) DMO等、新たな制度に関する情報収集、研究</p>
38	<p>滞在型観光、インバウンド、MICEの推進施策については、国内外ともにマーケティング調査を行い、ターゲットを明確にした上で基本政策を推進されたい。</p>	<p>37の回答をご参照ください。</p>	P31	-
39	<p>観光客向けのイベントの早期の情報開示をお願いしたい。</p>	<p>ご指摘のとおりですので、姫路城に関する年間行事など、早期の情報提供に努めているところです。少しずつ成果が出て来るものと考えます。</p>	P31	<p>【追加】 ③観光資源活用を目的とした民間事業者等への情報提供</p>

No.	提出された市民意見の概要	市の考え方	該当ページ	計画への反映
40	インバウンド観光については、2020年の東京オリンピック以降を見据えた国全体の外国人観光客の見通しや消費額等の地域経済への波及効果等を検討したうえでプロモーション等の優先順位を設けて考えられたい。	本プランでは5年の計画期間としておりますが、特にインバウンド観光については、2020年に向けて、刻々と状況が変わると考えられます。そこで、こうした動きに機敏に対応していくことが求められます。上記37に示した分析等を活用し、観光政策を効果的に進めてまいります。	P31	-
41	国内外の観光客の状況を把握するの基礎資料が少ない。ホテル、JR等の交通機関との連携が必要。	プロモーションにおける連携、協力はこれまでも進めてきましたが、今後は情勢分析等についても視野に入れた取り組みが必要であると感じています。	P31	-
42	東京オリンピック・パラリンピックに向けた観光戦略として、外国人に住みやすい、人にやさしい施策展開を追加するべきではないか。	インバウンド観光の推進、東京オリンピック・パラリンピック姫路プロジェクトの推進の中で、外国人観光客へのおもてなしの充実等の施策を挙げています。施策展開の中で参考意見とさせていただきます。	P32～33	-
43	外国人観光客へのおもてなし充実の施策として、日本文化体験プログラムが有効ではないか。	多様なおもてなしの推進施策として、外国人向けの体験メニューの掘り起こしや磨き上げ、PRを進めてまいります。	P32、33	-
44	東京オリンピック・パラリンピック姫路プロジェクトの推進について、市民フォーラムを開催するなど、コンセプトの段階から市民の参加を求め、市民との合意形成が必要ではないか。	市民の皆さんの参加は重要な要素であり、具体事業を進める中で、コンセプトについて、十分に理解し、協力者となっただけのよう、情報共有に努めてまいります。	P33	-
45	日英以外のボランティア育成、活用も視野に入れてほしい	台湾、中国、韓国等からの来訪も多いため、日英以外の言語への対応も視野に入れていく必要があると考えます。	P33	-

No.	提出された市民意見の概要	市の考え方	該当ページ	計画への反映
46	ユニークベニユーの充実について、市施設の弾力的な使用を検討してもらいたい。	MICE推進の観点から、市施設についても、ユニークベニユーの活用に向けた取り組みを進めているところです。	P34	-

◎「第4章 プランの推進体制」に関するもの

No.	提出された市民意見の概要	市の考え方	該当ページ	計画への反映
47	本プラン案に基本的に賛成。本プランを実行する人材の不足が考えられる。人材の育成が課題であり、特にホテル等サービス産業の人材や観光客への多言語対応の人材育成が必要。観光客への声かけが重要で、商店や自治会レベルで計画への実施参加のため、各町のNPO等を活用、育成してほしい。	地域が一体となった取り組みの推進のほか、プランの推進体制としての市民や事業者等との連携、協力の施策を進める中で、参考意見とさせていただきます。	P24、36	-
48	庁内連携は重要である。姫路城と周辺の見どころである史跡を充実させるためには、特に教育委員会との連携強化が必要ではないか。	観光は、今後、本市のまちづくりの大きな力となり、多面的な成長に欠かせない分野です。庁内が一体となって、施策に取り組んでまいります。	P36	-

◎その他

No.	提出された市民意見の概要	市の考え方	該当ページ	計画への反映
49	空き家の改修と市直営の民泊システムの実施	民泊については、本市は、都心に比べ、宿泊施設の稼働率にまだ余裕があることから、現在のところ、ホテルの代替機能としての推進施策の展開は考えておりません。また民泊は民間主体で実施されるべきものと考えます。	-	-